

## 1 はじめに

記録とは、メモ程度のものから、生活や学習、研究の記録まで多岐に渡り、自分にとって必要と思われる情報－事実・課題・自分の考え－を取捨選択しながら、正確な保存資料として残しておく役割を担う。生徒も現在に至るまでに、日常生活でも学校生活でも、様々な形で記録をしてきた。記録することの必要性を実感する場面も多かっただろう。しかし、「レポートを書く」ことに対する苦手意識をもつ生徒も多い。

ところで今、自ら課題を見つけ、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する力を育成したり、自分に必要な情報を選択し、自分の考えを築き上げていく力を育成することが求められている。本校の生徒からも説明的な文章などの学習が終わると、「もう少し知りたい」「調べてみたい」という声をよく聞く。しかし、足早に次の学習へと進むことが多く、せっかく芽生えた興味を授業の中で生かして調べ学習をする機会は少ない。そこで、今回は前時までに学習してきた『未来をひらく微生物』で芽生えた興味をもとに調べ学習を進めた。

## 2 研究仮説

- (1) テーマ設定の理由・目的を明確にすれば、必要な情報を取捨選択ことができるだろう。
- (2) 直前に学習した文章をもとにテーマを設定すれば、高い興味・関心をもったまま意欲的にレポート作成に臨むことができるだろう。

## 3 実践事例

### (1) 学習指導案

- 1 単元 真実を語る 調べたことを正確に伝えよう～レポートにまとめよう～
- 2 目標

- 「微生物」について、積極的に調べたりまとめたりしようとする。  
(国語への関心・意欲・態度)
- 自分の課題に必要な情報を集め、その中から適切な情報を選ぶことができる。  
(書くこと)
- 相手に正確に伝わるよう、意見と事実を書き分けたり、構成を工夫することができる。  
(書くこと)

### 3 教材について

本教材は自分の興味ある問題について調べ、レポートを書くことを学習する。既に生徒は社会科や総合的な学習の時間・理科などにおいて、調べて報告する活動を行っているが、伝えたいことの中心を考え、整理して書くために、改めて国語科の学習として位置付けた。

本学級の生徒（女子 16 名・男子 14 名）は、一行日記や作文・感想文など身近な出来事を記述したりする学習を経験してきている。400 字程度であれば、文章を書くことに抵抗がない生徒がほとんどである。しかし、段落構成を考えて書くことができなかったり、自分の考えが書けず事柄の羅列に終始してしまったりする生徒は多数いる。書く速さも個人差が大きい。聞いたことのメモを取ったり、自分の書いた文章を校正したりする活動も体験してきてはいるが、日常的に活用できる生徒は数名である。

本教材で生徒は、初めて横書きのレポートという形に取り組む。ここでは事実を正確に伝え、書き手の意図を間違いなく読み手に分かってもらえる説明的な文章を書く力の育成をめざしている。そしてレポートの構成の仕方を知ると共に、横書きの場合の句読点の打ち方や数字の書き方、メモの取り方、箇条書きの仕方、校正の仕方等、

言語事項についても指導する。

#### 4 指導計画（5時間扱い）

|     | 学 習 内 容                                      | 主な観点別評価基準                      |
|-----|----------------------------------------------|--------------------------------|
| 第1次 | ○調べることを決定する。（1時間）                            | 「微生物」について、積極的に調べたりまとめたりしようとする。 |
| 第2次 | ○テーマに沿って調べる。（2時間）                            | 自分の課題に必要な情報を集めることができる。         |
| 第3次 | ○調べメモをもとに、レポートの構成を考え「組み立てメモ」を作る。<br>（1時間） 本時 | 調べメモの中から情報を取捨選択し、構成を考えることができる。 |
| 第4次 | ○組み立てメモをもとに、レポートを書く。<br>（1時間）                | 事実と意見を明確に分けながら書くことができる。        |

#### 5 本時の指導

##### （1）目標

○調べメモの中から情報を取捨選択し、構成を考えることができる。

##### （2）準備・資料 調べメモ、組み立てメモ

##### （3）展開

| 学習内容                                                                                                                                                      | 生徒への援助・支援・評価                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 学習のめあてを確認する。<br><div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">           調べメモの情報を整理して、レポートの構成を考えよう。         </div>                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の学習課題を確認し、見通しをもって学習に取り組むことができるようにする。</li> </ul>                                                                                                                                                                                             |
| 2 調べメモの内容を見直す。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマ設定の理由を確認し、情報の選別を行う。</li> <li>・事実・意見・感想を色分けする。</li> <li>・一番伝えたいことに◎をつける。</li> </ul>              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・何を知りたかったのかをもう一度確認して、情報の選別を行うように指導する。</li> <li>・調べた情報すべてを使う必要はないことを助言する。</li> <li>・自分の意見と調べた文献の著者の意見を混同しないように指導する。</li> </ul>                                                                                                                  |
| 3 選材した取材メモを事柄や意味ごとにまとめて記述順を決め、それぞれに小見出しをつける。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・まとまりを作る。</li> <li>・記述する順番を決める。</li> <li>・まとまりごとに小見出しをつける。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・重複したもの、あまり関係のなかったものを取り除き、新しく思い付いたものがあれば書き加えてよいことを伝える。</li> <li>・自分の伝えたいことをはっきりさせ、書く順番通りのメモを作成することを伝える。</li> <li>・まとまりを作り、書く順に番号1・2・3や(1)(2)(3)など番号をふることを伝える。</li> <li>・調べたわけ、したこと、考えたこと、見たこと、会話や聞いたこと、調べたこと、感想で色分けし、片寄りがいないか確認させる。</li> </ul> |
| 4 友達の組み立てメモのいいところを取り入れて、自分の組み立てメモを完成させる。                                                                                                                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報は文章・図・表などを使って表現してもよいことを伝え、正確に伝えるための表現を考えさせる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">           情報を整理して、記述する順番通りに組み立てメモを作ることができたか。<br/> <b>【書くこと】</b> </div>                                          |
| 5 次の学習について知る。                                                                                                                                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・次時は、「組み立てメモをもとにレポートを書く」学習を行うことを伝える。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                |

## 4 研究の結果

### (1) 仮説 1 について

テーマ設定の理由：「なぜ知りたいのか」「何を知りたいのか」「予想」を具体的に書いてから調べ学習をした。情報を選別するときの基準とすることができた。また、予想を書いたことで調べる前と後の自分の考えの違いや感想なども生まれたようだ。

### (2) 仮説 2 について

「未来をひらく微生物」の学習から調べてみたいことが定まっていたので、最初からとても意欲的に調べ学習を進めることができた。また、調べていくうちに興味も高まってきたようで、授業時間以外にも図書室や家で調べる姿が多く見られた。

## 5 今後の課題

今回の実践では、図書やインターネットを使って調べ学習を行った。完成したレポートをみると、参考文献が図書一冊だけだったり、インターネットだけだったり情報元に偏りが見られた。さまざまな情報が混在する現代だからこそ、複数の情報元を読み、判断する力の育成が求められる。そこで、情報収集の仕方として、図書室での文献の探し方やインターネットの検索の仕方などを学習する機会が必要であると感じた。

また、今回は情報メモ、組み立てメモの両方をワークシート形式で行ったが、あまりうまく組み立てメモを作ることができなかった。情報収集の際、情報をカード（一枚につき一つの情報）に書き留めておけば、情報の整理がスムーズにいくと考える。仮説 2 でも述べたように、生徒自身の「知りたい」から始めた調べ学習だったので、積極的に調べ学習に取り組む姿が見られた。またレポートの枚数を 3 枚と制限したことで、レポートに対して苦手意識をもっていた生徒もあまり抵抗なく書くことができたようだ。